

日本防災士会 福島県支部 会報

日本防災士会 福島県支部 事務局発行 2016.04.01 №007

第10回 役員会開催される



第10回役員会に参加した方々

3月13日(日)ビックパレットふくしまの研修室において、第10回役員会が開催されました。今回の議事内容は、総会準備とNPO化推進が主でありましたので、討議事項も多く、異例ではございますが、議事の一部を会報でご報告しながらお知らせいたします。

まず始めに、平成27年度の活動について、報告を行いました。その次に、総会の開催予定について話し合いを行いました。結果として、7月9日(土)・10日(日)の二日間にわたり、役員会・総会・研修会・親睦会を宿泊しながら行うことと、磐梯熱海周辺で行えるようにしました。現在、開催場所を調整中です。改めて会場や議事・研修内容が決まり次第、ご案内いたします。

次に、NPO化の推進について検討を行いました。今回の議題では、NPOになった時の定款(案)や規定関係の確認を行いました。参加した役員からは、たくさんのご意見をいただきました。また、NPOへの移行に向けた準備委員会の設置や5月・6月にも役員会を開催して、7月の総会にNPO化の提案ができるように進めてまいります。会員皆様の更なる協力をお願い申し上げます。

平成27年度『福島県防災士養成フォローアップ研修会』

2月6日(土)に中通り会場のビックパレットふくしまと、2月7日(日)に会津地方会場の会津稽古道、2月20日(土)には浜通り会場のいわき市生涯学習プラザで開催されました。それぞれ、10:00～15:00の昼食を挟んでの4時間の研修会でした。講師には、東北大学災害科学国際研究所の保田真理先生と藁谷支部長が担当いたしました。第1部のご講演は、保田先生が担当して『『災を目指して～防災士としてできること』と題してお話しいただき、「普段の

生活の中に教えることがたくさんあることや、自分の特性を知り、広い視野で謙虚さと韌性を兼ね備えた防災士になってください。」と参加者に講演されました。第2部は、災害図上訓練で藁谷支部長が担当されました。始めに、支部の活動状況を報告し、災害図時要訓練の説明を行いました。この後は、各班で地図の指定されたところにマジックやシールを使い、指令書に従い協力者や危険箇所を書き込みます。いよいよ災害発生場所を記載して、訓練の始まりです。更に、指令書が出され地図上で発生した災害に対して、各班で知恵を出し合い対応いたします。まとめでは、救助が最優先に必要な方の順に並べるように指令があります。それぞれの考えを各班長が取りまとめて、班の代表者が発表して意見交換を行います。各班ごとの意見や考えがあり、救助の優先度が変化がありました。状況に応じた対応の多様性や命の危機が迫っている方の救助を優先しなくてはならないことを学びました。



上:的確に指示出す
班リーダー渡辺会員
下:地図を仕上げる
菅野監事と佐川会員



上:講師を務めた東北大学の
保田先生と藁谷支部長
下:地図に書き込む本田会員

いわき市内郷公民館 防災講座



上：新聞とビニール袋で防寒

対策の実演を行う藁谷支部長

下：HUG指導中の藁谷支部長

内郷公民館では、毎年地域の住民の皆様に対して、各種の講座を開いて地域貢献を行ってきました。藁谷支部長も平成25年より講師として防災講座を担当しております。そんな中で、「3ヶ月連続の防災講座で災害時に役立つ知恵を参加者に教えて欲しい。」との新しい企画が持ち込まれました。

第1回目は、10月1日(木)に開催されました。今回は、『災害に備える～防災の基礎知識と三種の神器』と題して、講演と実演を行いました。三種の神器とは、「ビニール袋、ラップ、新聞紙」です。これらを使い、ウインドブレーカーなどの防寒具を作成しました(写真上)。第2回目は、11月5日(木)に開催。災害図上訓練を行いました。この演習ではね災害発生時の対応について学びました。第3回目は、12月3日(木)に避難所運営ゲーム(HUG)を行いました(写真下)。こちらは、以前に経験したことのある方を班のリーダーに選出していただき演習に入りました。経験あるリーダーの協力もあり、順調に進みましたが、避難所のレイアウトは全てのグループで違いがあり、それぞれの意見を聞き、最良と考える配置を選択しながら避難所運営を学びました。

平成27年度いわき市津波避難訓練

1月16日(日)にいわき市全域において、津波避難訓練が開催されました。当日は、藤間中学校の体育館において行われる避難所運営及び防災備蓄品の使用に関する検証を行いました。防災士会からは、藁谷支部長と佐藤(源)班長が参加しました。

避難所では、受付及び家族構成や体調管理の問診を行いました。

また、避難地区毎にまとまりグループをつくり、それぞれに助け合い防災備品としていわき市が準備しているテント・組立式間仕切り・簡易トイレなどの組立を行いました。その後に、藁谷支部長の実演で折り畳みの担架とリヤカーの組立を行いました。最後に地元婦人会やガス会社の協力で豚汁がふるまわれ、有意義な訓練でした。



第7回いわきサンシャインマラソン救護員活動



藁谷支部長(下左)と救護員の皆様

第7回いわきサンシャインマラソンが、いわき市内を会場に2月14日(日)に開催されました。当日は、小雨の中で8千人を超えるランナーが健脚を競いました。そんな大会も、いろいろな裏方の方々に支えられて運営されております。今回も、弊会の会員から救護員として、藁谷支部長(写真下左)と佐藤(源)班長(写真上右)、岡田会員(写真上中央)が参加しました。また、支部長の御友人の前田河さんと長谷川さん、高宮さんにも協力していただきました。大きな事故もなく、無事に対応することができました。皆さんお疲れ様でした。来年の大会も御協力ください。

会員の皆様へ：会員様各個人で活動したり、地域で行われる行事に参加したときは、その行事の内容と写真を添えて支部長または、事務局長へ連絡するか、事務所にFAX(0246-26-8896)して下さい。

Eメールの場合は、支部長宛 t_waragai_bousaisi_19617@yahoo.co.jp へ直接送ってください。

皆様の活動状況を記録し、会員の方に知っていただくチャンスです。ご連絡をお待ちしております。